

Maebashi Institute of Technology

前橋工科大学

2027年度

学生募集要項

【特別選抜】

学校推薦型選抜

(高大接続型)

〒371-0816

群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

前橋工科大学 学務課入試広報係

TEL 027-265-0111 (代表)

027-265-7361 (学務課入試広報係)

FAX 027-265-3837

E-Mail nyushi@maebashi-it.ac.jp

目 次

前橋工科大学工学部の教育ポリシー	1
前橋工科大学工学部 各学群の教育ポリシー	2
前橋工科大学特別選抜（学校推薦型選抜 高大接続型）関係日程	4
I 試験概要	5
I-1. 募集人員	
I-2. 出願資格	
II 試験会場及び試験日時	7
III 出願・手順	7
III-1. 出願期間	
III-2. 出願方法	
III-3. 出願書類	
III-4. 出願先（宛名表記載済み）	
III-5. 入学検定料	
III-6. 出願手続上の注意事項	
III-7. 受験票	
III-8. 障がい等への配慮を必要とする入学志願者との事前相談	
IV 受験上の注意事項	10
IV-1. 試験場への入退場	
IV-2. 個人的事情による遅刻者の扱い	
IV-3. 公共交通機関の遅延による遅刻者の扱い	
IV-4. 所持品	
IV-5. 受験上の注意事項	
IV-6. 受験心得	
V 合格発表	11
V-1. 発表日	
V-2. 発表方法	
VI 入学手続	11
VI-1. 入学手続	
VI-2. 入学に係る経費	
VII その他	14
VII-1. 個人情報の取扱い	
VII-2. 入学前教育について	
VII-3. ノート型パソコンの必携化について	
VII-4. 前橋工科大学へのアクセス	
試験当日の所持品チェックリスト	16

前橋工科大学工学部の教育ポリシー

○ 前橋工科大学の三つのポリシー（アドミSSION・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）

本学は、建築・都市・環境工学群、情報・生命工学群の2学群から構成される、工学部単科大学である。大学として、入学者受け入れ方針（アドミSSION・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の3ポリシーを定めている。多様な特色をもつ2学群では、それにしたがって、学群の理念を実現するため、さらに学群ごとに3つのポリシーが定められている。

● 入学者受け入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

前橋工科大学の理念、教育の目標を理解し、以下の能力、意欲を持つ人の入学を希望します。

- ・教育課程編成・実施の方針をもとに学び、成長するために必要な、高校課程の基礎的な学力を備えている人
- ・工学に関心を持ち、みずから考え、判断する力を育くみ、何事にも積極的に挑戦しようと考えている人
- ・発想力、洞察力、コミュニケーション力をみがくため、持続力をもって学ぼうとする人
- ・対話によって気づきを共有することが、学びを深めるために大切だと認識する人

● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・卒業認定・学位授与の方針を達成するために必要な、教養基礎科目、専門教育科目を学修する
- ・工学教育を特徴づける実験・実習・演習をとおして、課題の解決に必要な知識と方法を修得し、その結果を論理的に発表する力を身に付ける
- ・本学での学修に加え、インターンシップなどの学外活動をとおした実社会との交流も促進し、表現力、協調性、倫理性を涵養する

● 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- ・本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している
- ・自ら課題を見いだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている
- ・他者との協働に参画し得る社会性を有し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身に付けている

建築・都市・環境工学群の教育ポリシー

「入学者受入方針」（アドミSSION・ポリシー）

・求める学生像

身のまわりのアイテム、建築物、橋のような公共構造物と、それらとふれあう場としての生活空間・情報空間について、工学的にデザインする技術者の育成を目指します。日ごろ目にするものやその環境が学びの対象です。持続的社会の構築を目指してどのように‘もの’や‘空間’と向き合い、環境を整えるべきか、工学を手掛かりに考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野と洞察力、独創的な発想力と問題解決能力、コミュニケーション力などの基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）・化学（化学基礎を含む）、国語、英語及び情報Ⅰで、入学時までこれら科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目（工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目）に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに教養基礎科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実施すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者としての最低限必要な基礎学力を身に付ける。

2年次においては学群共通科目の履修をととして学群の関係する広範な学術分野を横断的に理解できる能力を開発するとともに、それぞれの教育プログラムの基礎的な科目を学び、学生ひとりひとりが基礎知識と自己表現力・提案力を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

3年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

4年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、討議の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な126単位以上を修得し、次の能力を有すると認められた者に学士（工学）の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝達することができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

情報・生命工学群の教育ポリシー

「入学者受入方針」（アドミッション・ポリシー）

・求める学生像

情報科学・生命科学・ロボット技術と、微生物から人間まで様々な生きもののもつ優れた機能の利用によって、よりよい社会をつくる技術者の育成を目指します。データサイエンスおよびライフサイエンスがおもな学びの対象です。最先端の技術を持続的社会的形成に役立て、人々の暮らしを豊かにする方法を考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野を持って、自然科学・工学の知識を収集・理解し、問題を発見、分析、解決するための基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C（あるいは同等の科目）、理科では物理（物理基礎を含む）・化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）（あるいは同等の科目）、国語、英語及び情報Ⅰで、入学時までこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目（工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目）に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに基礎教育科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実践すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者として最低限必要な基礎学力を身に付ける。

2年次においては、学群共通科目及びそれぞれの教育プログラムの基礎的な科目を履修し、学生ひとりひとりが技術者としての基本的な素養とともに情報工学及び生命工学に関する基礎知識を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

3年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

4年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、討議の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な126単位以上を修得し、次の能力を有すると認められたものに学士（工学）の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝達することができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

前橋工科大学特別選抜（学校推薦型選抜 高大接続型）関係日程

出願期間

2026年11月3日(火) ～ 11月10日(火)



試験（書類審査及び面接（口頭試問を含む））

2026年11月22日(日)



合格発表

2026年12月7日(月)



入学手続期間

2026年12月8日(火)～2026年12月17日(木)

I 試験概要

I-1. 募集人員

学部	学群※1	教育プログラム	募集人員
工学部	建築・都市・環境工学群	土木・環境プログラム	12
		建築都市プログラム	
		工学デザインプログラム	
	情報・生命工学群	情報システムプログラム	12
		医工学プログラム	
		生物応用プログラム	

※1 学科に相当します（以下同じ。）。

I-2. 出願資格

本学工学部への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当する者で、かつ、本学が実施する総合型選抜及び学校推薦型選抜（公募型）に出願しない者

- （1）本学が指定する高等学校を2027年3月に卒業見込みの者
- （2）将来、工学分野の研究・発展に対して貢献が期待できる能力・適性を有する人物として、当該高等学校長が責任をもって推薦する者
- （3）令和8年度大学入学共通テストにおいて、次の5教科7科目を受験する者

教科	科目	
国語	国語（近代以降の文章のみ利用）	
数学	数学Ⅰ, 数学A	
	数学Ⅱ, 数学B, 数学C	
理科	建築・都市・環境工学群	物理・化学
	情報・生命工学群	物理・化学・生物から2科目
外国語	英語（リーディング・リスニング）	
情報	情報Ⅰ	

- （4）文部科学省様式の調査書、本学指定の大学入学希望理由書・活動報告書を提出できる者
- （5）合格した場合、必ず入学することを確認する者

※本学が実施する総合型選抜、学校推薦型選抜（公募型）と併願することはできません。

I-3. 推薦基準

対象校に通知します。

I-4. 推薦者数

対象校に通知します。

I-5. 選抜方法

合否判定の方法

面接、出願書類（大学入学希望理由書・活動報告書、推薦書、調査書、英語外部検定試験）を総合して判定します。

合格者を対象に、大学入学共通テストを課します。本学が指定する教科・科目の受験をしなかった場合及び科目の得点の中に0点がある場合は、合格発表後であっても合格を取り消す場合があります。

(1) 書類審査・面接

学群	教育プログラム	試 験 内 容
建築・都市・環境工学群	土木・環境	○書類審査 大学入学希望理由書・活動報告書、推薦書、調査書 ○面接（口頭試問を含む。）
	建築都市	
	工学デザイン	
情報・生命工学群	情報システム	○書類審査 大学入学希望理由書・活動報告書、推薦書、調査書 ○面接（口頭試問を含む。）
	医工学	
	生物応用	

※英語外部検定試験の成績を評価します。

※以下の英語外部検定試験の成績表（スコアや級の分かるもの）の写しを提出できる人は、推薦書の中に厳封して提出してください。

- ・ GTEC（（4技能版(Advanced・Basic・Core・CBT) 検定実施に限る）・（3技能版（オフィシャルスコアに限る））
- ・ TOEFL iBT®・TOEFL Junior (Standard)
- ・ TOEIC® L&R+S&W又はTOEIC® L&R（それぞれ公開テスト）
- ・ 実用英語技能検定試験（英検（従来型）・英検2020 2 days S-Interview・英検S-Interview・英検2020 1 day S-CBT・英検S-CBT・英検CBT®）
- ・ TEAP
- ・ ケンブリッジ英語検定(C2 Proficiency・C1 Advanced・B2 First・B2 First for Schools・B1 Preliminary・B1 Preliminary for Schools・A2 Key・A2 Key for Schools)・IELTS アカデミック・モジュール

(2) 大学入学共通テスト

学群	本学が指定する教科・科目
建築・都市・環境工学群 ・土木・環境プログラム ・建築都市プログラム ・工学デザインプログラム	国語：「国語」（近代以降の文章のみ利用する） 数学：「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」 理科：「物理」、「化学」 外国語：「英語」（リーディング・リスニング） 情報：「情報Ⅰ」
情報・生命工学群 ・情報システムプログラム ・医工学プログラム ・生物応用プログラム	国語：「国語」（近代以降の文章のみ利用する） 数学：「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」 理科：「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 外国語：「英語」（リーディング・リスニング） 情報：「情報Ⅰ」

Ⅱ 試験会場及び試験日時

- 試験会場：前橋工科大学（面接控室は、当日に受付（1号館）でお知らせします。）
- 試験日：2026年11月22日（日）
- 試験時間：次のとおり

時間	諸注意	※9時00分～11時00分
科目	面接	

※集合時間及び面接開始時間は、受験票発送時にお知らせします。

Ⅲ 出願・手順

Ⅲ-1. 出願期間

2026年11月3日（火）～11月10日（火）

Ⅲ-2. 出願方法

出願は、本学から対象校宛に送付した所定の様式を、志願者本人から直接大学宛に、速達の簡易書留で郵送（提出期限内必着）してください。なお、高等学校で取りまとめてお送りいただいても構いません。なお、この場合も、志願者ごとに分けた封筒に提出書類を収納してください。

Ⅲ-3. 出願書類

（1）出願書類と作成要領

出願書類	作成要領
①志願票	黒色のボールペン（消せるボールペンは不可。以下同じ。）で記入又はパソコン等で作成してください。
②受験票	<u>所定の書式</u> を使用し、志願者本人が記入してください。
③写真票	縦4cm×横3cmの写真（正面上半身脱帽背景なし、出願前3か月以内に撮影したもの）の裏に氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。
④大学入学希望理由書・活動報告書	<u>所定の書式</u> を使用し、志願者本人が記入してください。 ※様式は、対象校に送付します。
⑤調査書（※）	出身高等学校長が文部科学省所定の様式により作成し、 <u>厳封したもの</u> を提出してください。 ※調査書は、2026年4月1日以降のものを提出してください。
⑥高等学校長推薦書	<u>所定の書式</u> を使用し、出身高等学校長が記入し、厳封してください。 ※様式は、対象校に送付します。

出願書類	作 成 要 領
⑦英語外部検定試験の成績を証明する書類	書類審査の中で、英語外部検定試験の成績を評価します。 以下の英語外部検定試験の成績表（スコアや級の分かるもの）の写しを提出できる人は、<u>推薦書の中に厳封して提出してください。</u> ・ GTEC（（4技能版(Advanced・Basic・Core・CBT) 検定実施に限る）・（3技能版（オフィシャルスコアに限る）） ・ TOEFL iBT®・TOEFL Junior（Standard） ・ TOEIC® L&R+S&W又はTOEIC® L&R（それぞれ公開テスト） ・ 実用英語技能検定試験 （英検（従来型）・英検2020 2 days S-Interview・英検S-Interview・英検2020 1 day S-CBT・英検S-CBT・英検CBT®） ・ TEAP ・ ケンブリッジ英語検定(C2 Proficiency・C1 Advanced・B2 First・B2 First for Schools・B1 Preliminary・B1 Preliminary for Schools・A2 Key・A2 Key for Schools) ・ IELTS アカデミック・モジュール
⑧入学検定料納付証明書	入学検定料は、『振込依頼書』を使用し、金融機関（ゆうちょ銀行は、除く）の<u>窓口にて納入</u>してください。A T Mやインターネットバンキングで納入しないでください。入学検定料納入後、『入学検定料納付証明書』を貼付欄に貼付してください。受領印のないものは、受け付けできません。
⑨推薦入学確約書	<u>所定の様式を使用し</u>、志願者本人及び出身高等学校長が記入してください。 ※様式は、対象校に送付します。
⑩前橋市の住民票の写し	<u>前橋市内居住者に該当する者※は</u>、入学金減免の対象となるので提出してください。なお、配偶者又は1親等の親族が前橋市内居住者の場合は、本人との関係性が分かる書類を併せて提出してください。 ※「VI-2. 入学に係る経費」（13頁）参照
⑪受験票返送用封筒	<u>長形3号（23.5cm×12cm）の封筒に</u>、出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、<u>定形郵便物（50g以内）＋速達分と簡易書留分</u>の送付用切手を貼ったもの。
⑫出願書類提出用封筒	<u>本学から送付した提出書類送付用ラベルに</u>、志望プログラム、差出人等の必要事項を記入し、<u>角2封筒（33.2cm×24cm）に</u>、はがれないように糊付してください。 なお、提出書類送付用ラベルが破損した場合に備え、封筒裏面に<u>出願者の住所及び氏名</u>を記入してください。

※調査書に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。

※出願書類に不備がある場合又は書類の送付期限を過ぎて到着した場合は、受理しませんので、十分注意してください。

Ⅲ-4. 出願先

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460番地1
前橋工科大学 学務課入試広報係 〔1号館1階事務局内〕
TEL 027-265-7361

Ⅲ-5. 入学検定料

- (1) 入学検定料 17,000円
 - (2) 支払期間：2026年11月3日（火）～11月10日（火）
 - ・志望プログラムの誤りによる入学検定料の返還はできません。
 - ・入学検定料の支払時は、別途、手数料がかかります
 - ・一度納付された入学検定料は、次の①～④のいずれかに該当する場合を除き、原則として、どのような理由があっても返還しません。
 - ①入学検定料を二重に納入した場合
 - ②入学検定料の納入後、出願手続をしなかった場合
 - ③出願無資格者であることが判明した場合
 - ④出願期間後に出願書類の提出があった場合
- ※上記①～④の場合は、入学検定料から振込手数料を差し引いた金額を返還します。納入した入学検定料の対象となる試験の実施日までに、本学学務課入試広報係に問い合わせてください（「Ⅲ-4. 出願先」（8頁））。

Ⅲ-6. 出願手続上の注意事項

- (1) 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が判明した場合は、入学を取り消すことがあります。
- (2) 出願受付後は出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号等に変更が生じた場合は、変更を証明する書類を提出して、手続を行っていただく必要がありますので、本学学務課入試広報係まで連絡してください「Ⅲ-4. 出願先」（8頁）。
- (3) 出願書類に記入漏れやその他不備のある場合は、受理しないことがありますので、出願の際には十分確認してください。
- (4) 一度受付をした出願書類は、どのような理由があっても返還しません。
- (5) 募集要項の内容に修正等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので出願書類作成前と送付前に確認してください。
- (6) 国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含める。）へ出願することができるのは、1つの大学・学部に限られるので注意してください。
- (7) 本学の学校推薦型選抜の合格者で入学手続を完了した者は、他の国公立大学・学部の異なる入試区分（前期日程等）に出願しても受験することはできません。たとえ受験しても受験者として取り扱われません。ただし、「入学辞退」の手続きを行い、入学辞退を許可された場合は、この限りではありません。
- (8) 本学の学校推薦型選抜の「不合格者」及び「合格者のうち入学辞退を許可された者」は、他の国公立大学・学部の個別学力検査等で、分離分割の前期日程・後期日程又は公立大学中期日程の併願について、それぞれ1つずつ、合計3つまでの大学・学部を選んで出願することができます。ただし、当該大学の指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験している必要があります。

Ⅲ-7. 受験票

- (1) 受験票は、試験当日に必ず持参してください。
- (2) 受験票には、試験室及び集合場所は記載されていません。試験室は試験当日に受付（1号館）でお知らせします。
- (3) 試験当日に受験票を忘れた者は、速やかに試験本部で受験票の再交付を受けてください。
- (4) 受験票は2026年11月17日を目安に発送します。

Ⅲ-8. 障がい等への配慮を必要とする入学志願者との事前相談

障がい等のある方が本学への入学を志願する場合で、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるときは、次のとおり、出願前に必ず連絡し、相談してください。また、相談期限後に不慮の事故等により身体等に障がいを負うこととなった場合も、速やかに相談してください。

- (1) 相談時期
2026年9月25日（金）まで

(2) 相談方法

事前に本学学務課入試広報係まで電話連絡し、本学で定める相談申請書（住所・氏名・性別・連絡先・志望プログラム・障がいの状況・受験上、修学上特別な配慮を希望する事項・出身学校等で取られていた特別措置を明記してください。）及び診断書等の必要書類を提出してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者等との面談を行います。

(3) 連絡先・提出先

「Ⅲ-4. 出願先」（8頁）と同じ。

Ⅳ 受験上の注意事項

Ⅳ-1. 試験場への入退場

- (1) 受験生は、試験開始の30分前までに指定された試験室に入室し、着席してください。
- (2) 駐車場は数に限りがありますので、可能な限り公共交通機関等をご利用ください。公共交通をご利用の方は、お帰りの交通機関の運行時間等にもご注意ください。
- (3) 指定された試験場及び試験室以外では、いかなる理由があっても、受験はできません。

Ⅳ-2. 個人的事情による遅刻者の扱い

試験開始時に不在であった場合は、欠席したものととして取扱います。

Ⅳ-3. 公共交通機関の遅延による遅刻者の扱い

- (1) 公共交通機関の大幅な遅延による遅刻の場合は、受験を認めることがあります。この場合は、試験場入口で係員に申し出てください。
- (2) 公共交通機関の大幅な遅延が生じ、試験当日多くの受験生に影響があると本学が判断した場合、試験の実施に支障を来さない範囲で、全体の試験開始時間を繰り下げることがあります。このことに伴う受験生の個人的な損害については、本学は責任を負いません。

Ⅳ-4. 所持品

- (1) 受験票：試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。試験当日は、常に受験票を携帯する必要があります。
また、受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- (2) 腕時計：各自で持参してください。試験室に時計はありません。また、時計の貸出しは行いません。
- (3) 筆記用具等：試験当日は、筆記用具を持参してください。詳細は次のとおりです。

<試験中に使用を認めるもの>

- ・鉛筆（黒「HB」「B」）、シャープペンシル（黒「HB」「B」）、消しゴム
- ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）
- ・時計（ただし、以下に掲げるものは不可：辞書や電卓などの機能を備えているものや、それらの機能の有無を判別しにくいもの・秒針音のするもの・大型のもの）
- ・目薬・マスク・ハンカチ
- ・ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）

<試験中に使用を認めないものの例>

- ・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、ウェアラブル端末等の電子通信機器等
- ・携帯電話、携帯音楽プレーヤー等、音を発するもの
- ・時計やストップウォッチのアラーム機能や時報機能（これらの機能は、試験前に必ず解除してください。）
- ・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）
- ・コンパス、翻訳機、電子辞書、電卓、そろばん
- ・ボールペン、赤ペン、色鉛筆、万年筆、色マーカーペン（蛍光ペン等）、付箋
- ・筆入れ（ペンケース）
- ・耳せん

IV-5. 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は、受験票を必ず持参してください。
- (2) 試験当日に、受験票を忘れた者は、速やかに1号館1階にある本学事務局で受験票の再発行手続をしてください。また、受験票は入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- (3) 試験室等は、当日に受付（1号館）でお知らせします。
- (4) 面接試験において、開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取扱います。
- (5) 面接試験会場には、受験票のみ持ち込みを許可します。
- (6) 駐車場は数に限りがありますので、可能な限り公共交通機関をご利用ください。
- (7) 本学は、宿泊施設の斡旋は行っていません。
- (8) 試験会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じてても責任を負えませんので、注意してください。
- (9) 試験日前日の午前に限り試験会場の下見ができますが、建物内（試験室等）への立入りはできません。
- (10) 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が求められているインフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症になり治癒していない者は、他の受験生等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。なお、これにより受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置や入学検定料の返還は行いませんので、試験当日の体調管理については、十分に注意してください。
- (11) 不測の事態等が生じ、試験実施が困難であると判断した場合は、試験を中止し、又は試験形態を変更することがあります。ただし、このことに伴う受験生の個人的な損害については、本学は、責任を負いません。
- (12) 試験の実施に関して変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、試験前に確認してください。

IV-6. 受験心得

- (1) 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。不正行為を行った者は、失格とします。
- (2) 公正な入学試験の実施を妨げるような行為があったと認められた場合、本年度の本学におけるすべての入学試験において不合格とします。
- (3) 問題用紙及び解答用紙を配付する試験では、用紙に記載してある注意事項をよく読んでください。
- (4) 面接が終了していない受験者が、面接が終了した受験者から面接の内容を聞くことや面接が終了した受験者が面接を終了していない受験者に面接の内容を教えることは、不正行為となり、双方が失格となります。

V 合格発表

V-1. 発表日

2026年12月7日（月）13時00分

V-2. 発表方法

合格者には、合格通知書及び入学関係書類等の速達の簡易書留郵送で郵送します。また、合格者の受験番号は、本学ホームページ（<https://www.maebashi-it.ac.jp/>）で、同日の13時に掲載しますが、合格通知書の送付をもって正式通知とします。なお、合格結果については、学校長宛に通知します。ただし、学校長宛の通知文は合格発表日以降に郵送します。また、電話等による合格に関する問い合わせには、一切応じません。

VI 入学手続

VI-1. 入学手続

入学手続書類に必要事項を記入し、入学料を納入の上、「郵送」又は「持参」により提出してください。

詳細は、合格者に送られる「入学手続案内」をご覧ください。

(1) 入学手続期間及び方法

2026年12月8日(火)～12月17日(木)

手続書類の提出は、「郵送」又は「持参」により行ってください。

郵送：速達の簡易書留とし、提出期間内必着

持参：受付時間は、土日祝日を除く平日

9時00分～12時30分及び13時30分～17時00分

注：郵送・持参のいずれの場合も、入学手続期間内に入学手続が完了しない場合は、入学辞退者として扱います。

(2) 入学手続に必要なもの

① 本学の受験票(原本)

② 令和9年度大学入学共通テスト成績請求票【国公立学校推薦型選抜用】

③ 国公立大学入学確認票

④ 入学手続案内で指示するもの

ア 誓約書(本学所定の用紙)

イ 学生調査票(本学所定の用紙)

ウ 住民票の写し(本籍・続柄の表示は、不問。マイナンバー(個人番号)の記載がないもの)

エ カラー写真 2枚(縦4cm×横3cm。1枚は、学生調査票に貼付。)

⑤ 振込金受領書〔入学料〕【原本】：書類提出前に金融機関で納入してください。

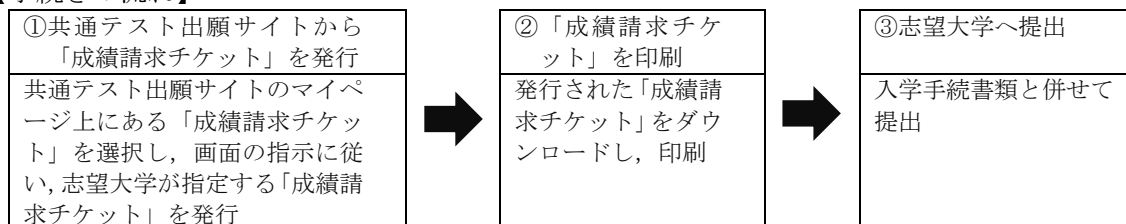
※①及び⑤は、手続完了後、返却します。

※②及び③は、共通テスト出願サイトのマイページから各自で取得・印刷してください。詳細は、大学入学共通テスト受験案内(54、56頁)を確認してください。

(3) 成績請求情報について

「チケット方式」により、大学入試センターに本学が指定する教科・科目(6頁参照)の試験成績を請求します。手続きは、本学が(2)②の成績請求票により行います。

【手続きの流れ】



(4) 入学手続先

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

前橋工科大学 学務課入試広報係 [1号館1階事務局内]

TEL 027-265-7361

(5) 入学手続上の注意事項

① 合格者が、入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。この場合、入学辞退者としては取扱いません。

② 必要な書類が全て揃っていない場合は、受け付けませんので、書類の提出の際には十分確認をしてください。また、入学手続期間を過ぎて到着した場合も受け付けませんので、郵送の場合は、所要日数を十分に考慮して発送してください。

③ 「卒業(修了)見込み」で出願した者が、2027年3月31日までに卒業(修了)できなかった場合は、入学許可を取り消します。

④ 入学料を振り込んだだけでは、入学手続を行ったことになりません。

⑤ 一度受付をした入学手続書類及び納入された入学料は、原則として、返還しません。ただし、次のア又はイのいずれかに該当する場合は、入学料を返還しますので、入学手続期間の最終日までに、学務課入試広報係に問い合わせてください(振込手数料は、本人負担となります。)

ア 二重に納入した場合

イ 入学料の納入後、入学手続をしなかった場合

入学手続書類を受理しなかった場合は、本学から返還手続の案内を行います。

(6) 入学辞退

学校推薦型選抜(高大接続型)の場合、合格者が入学を辞退することは、原則として認められません。ただし、特別な事情により入学辞退を希望する者は、「推薦入学辞退願」(様式は問いません。)

を推薦書発行者と連署のうえ本学学長あてに必ず速達の簡易書留で、２０２７年２月１９日（金）必着で提出し、その許可を得なければなりません。

VI-2. 入学に係る経費

		金 額	納入時期
入 学 料 (注6)		282,000円	入学手続時
		141,000円 [前橋市内居住者] (注1)	
諸 経 費	後 援 会 費	50,000円	入学前
	同 窓 会 費	20,000円	
	災害傷害保険料 (注2)	4,660円	
	TOEIC受験料 (注3)	3,130円 [1年次に受験]	
	学生自治会費	21,000円	入学時
授 業 料 (注4) (注5) (注6)		535,800円 [年額]	4月及び10月

※上記金額は、２０２６年４月１日現在のものです。改定した場合は、改定後の額が適用されます。

※入学科等の支払時は、別途、手数料がかかります。

(注1) 「前橋市内居住者」とは、入学する者又は配偶者若しくは１親等の親族が２０２７年４月１日において引き続き１年以上前橋市に住所を有している者とし、（２０２６年４月１日から２０２７年４月１日までの間、前橋市に住民登録がある者）

「前橋市内居住者」として入学科を納入し、入学した者は、２０２７年４月１日以降に取得した前橋市の住民票の写し（２０２７年４月１日以降に転出した者は住民票の除票）を提出していただきます。なお、前橋市内居住者の条件を満たしていないことが判明した場合は、差額を納入していただきます。

(注2) 災害傷害保険料は、学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料（正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合は、改定時から新保険料が適用されます。）です。２０２７年３月３１日（水）までに払い込んでください。

(注3) 後援会に加入した場合は、２,０００円の助成が受けられます。

(注4) 授業料の納入については、前期及び後期の２期に分割し、前期分については４月末日までに、後期分については１０月末日までに、それぞれ年額の２分の１に相当する額を納入することになります。また、教科書の購入等のために、別途費用が必要となります。

(注5) 次の全てを満たす方は、本学予算の範囲内において選考を行い、「前橋市出身入学者特待生」として、１年次の１年間の授業料が半額の減額となります。

①上記(注1)の「入学する者又はその配偶者若しくは１親等の親族が２０２７年４月１日において引き続き１年以上前橋市に住所を有している場合の当該入学者」の適用を受けて２０２７年４月以降に入学した学部生

②大学入学共通テストにおける次の科目の各得点が全て全国平均点以上（得点調整が行われた場合は、得点調整後の得点とする。）

「数学Ⅰ、数学Ａ」、「数学Ⅱ、数学Ｂ、数学Ｃ」、「英語（リーディング）」、「英語（リスニング）」、『「物理」、「化学」、「生物」から１科目（高得点のものを採用）』

(注6) 大学等における修学の支援に関する法律に基づき、支援の対象となる学生に対して授業料及び入学科の減免措置を行います。手続等の詳細については、合格者にお知らせします。

VII その他

VII-1. 個人情報の取扱い

本学では、提出された書類及び入学試験の実施により志願者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報については、関係法令を遵守し、次の目的以外には利用しませんので、あらかじめご了承ください。

- (1) 入学者の選抜、合格者発表及び入学手続業務を行うために利用します。
- (2) 入学者の個人情報は、教務関係、学生支援関係及び授業料徴収業務関係の業務を行うために利用します。また、本学関連団体である前橋工科大学後援会、前橋工科大学同窓会及び前橋工科大学学生自治会において、各団体の運営に必要な範囲内で利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は、教務関係及び学生支援関係の業務並びに今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために、学内でのみ利用します。
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、本学個別学力検査の受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報が独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

なお、本学が上記の業務を行うに当たり、外部の事業者へ委託することがあります。

その際の個人情報は、上記(1)～(3)に基づき、適切な取扱いをすることとし、業務終了後は速やかに破棄する契約を締結します。

VII-2. 入学前教育について

合格者には、当大学指定の入学前教育講座(通信教育)を受講していただきます。本入学前教育は、本学入学後の学修へ円滑に移行できるように基礎学力の向上と学習習慣の定着を目的として実施するものです。受講期間※は、教育講座資料配送後から3月末までです。受講料は、合格者負担で、21,000円(税別)程度の予定です。なお、受講料は、変更される場合があります。

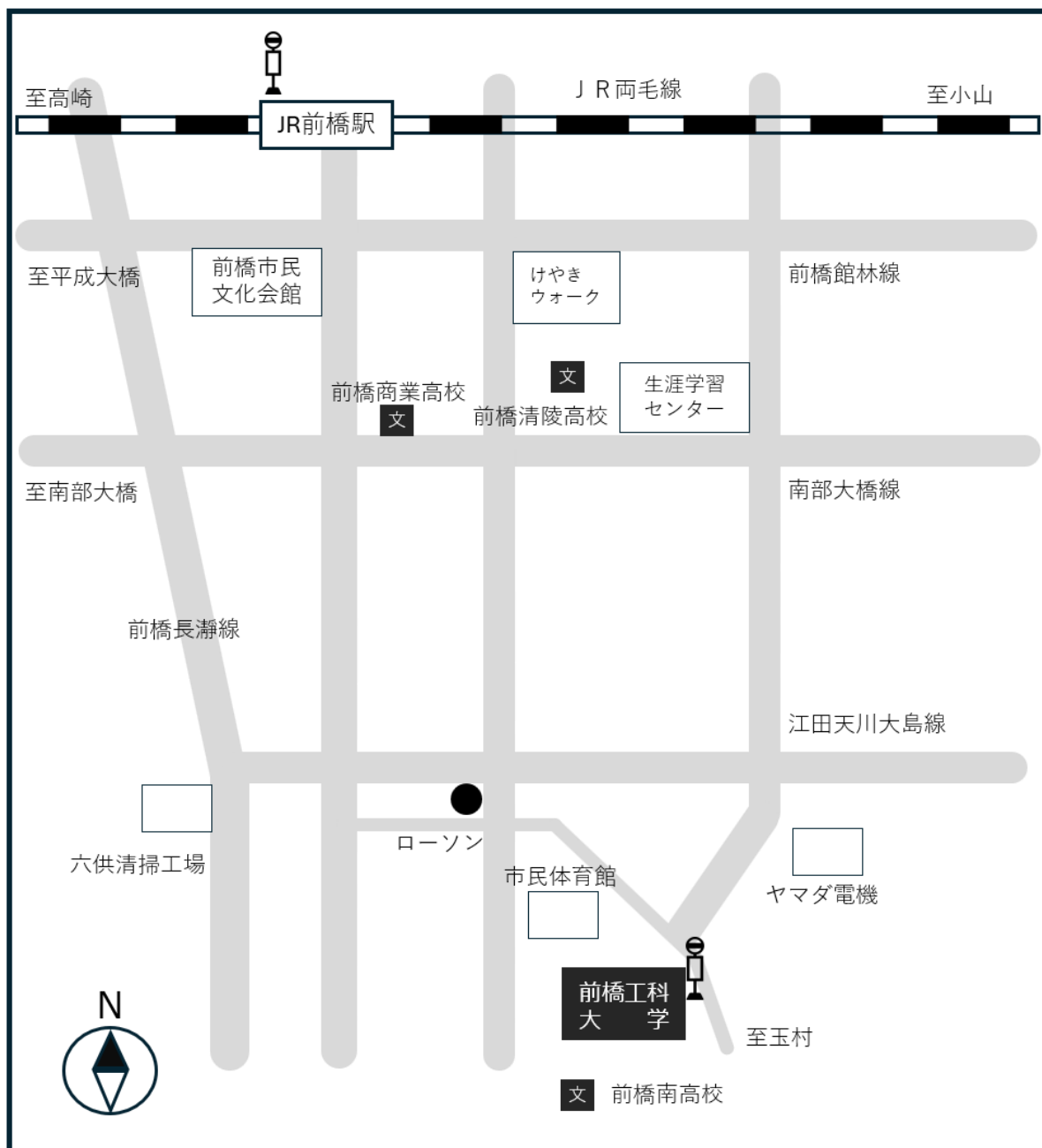
※総合型選抜の合格者は11月上旬、学校推薦型選抜の合格者は12月上旬から開始予定

VII-3. ノート型パソコンの必携化について

本学では、高度情報化社会における情報通信技術等の修得や、ICTを活用したアクティブラーニングの推進、学修環境の充実を目的として、ノート型パソコン必携制度を実施しています。これにより、本学に入学される方は、入学までに各自でパソコンを準備していただくことになります。なお、準備していただくノート型パソコンの推奨仕様は、後日、本学ホームページでお知らせします。

VII-4. 前橋工科大学へのアクセス

前橋工科大学案内図



アクセス

- ・ バス J R前橋駅北口4番乗場から約10分「前橋工科大前」下車
- ・ タクシー J R前橋駅から約10分
- ・ 徒歩 J R前橋駅から約45分

Googleマップ



試験当日の所持品チェックリスト

①	2027年度前橋工科大学受験票	
②	時計（時計機能のみのもの）	